

平成28年11月29日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後 3時00分
閉会 午後 4時50分

2 出席委員

田 中	教育長
関	教育長職務代理者
吉 岡	委 員
江 口	委 員
若 本	委 員

3 欠席委員

な し

4 出席事務局職員

山 本	教 育 部 長
白波瀬	次長兼総括指導主事
吉 村	教育総務課長
土 岐	学校教育課長
河 原	社会教育課長兼中央公民館長
大 西	社会教育課人権教育担当課長
永 田	学校給食センター所長
内 藤	図書館長
黒 川	文化資料館長
難 波	教育研究所長
中 川	教育総務課副課長兼総務係長事務取扱

5 傍聴者

1 名

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

平成28年10月28日に開催した定例会の会議録について承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・学校規模適正化について、説明会を重ねてきた。
- ・11月4日に中学校給食のあり方検討委員会から提言をいただいた。いろいろな方法を議論していただく中で、亀岡市においては当面デリバリー方式のお弁当を選択して希望者に昼食の提供を実施するのが適切ではないかと提言をいただいた。来年度に向けてモデル校を選定して実施を考えている。
- ・ジュニアオリンピックで円盤投げと走り高跳びがそれぞれ上位入賞した。
- ・部落解放同盟との懇談会を11月18日に実施した。教育課題については、貧困対策とその子どもたちのケアについて等何件か指摘があった。改めて教育については協議がしたいということで、12月9日に実施する予定である。
- ・11月20日に「ヒューマンフェスタ」と「ゆうあいフォーラム」をガレリアかめおかで同時に開催した。教育委員会としては、いじめ根絶の取組の一環として啓発を行った。
- ・11月24日に佐伯遺跡発掘調査の説明会を実施した。佐伯地域で大規模な圃場整備事業が進んでおり、そのエリアにおいて遺跡を発掘した。埋蔵文化財センターが主になって発掘調査をしていただいているが、その成果の説明会があった。
- ・「地域ふれあいサイエンスフェスタ」を11月26日に行った。亀岡高校や南丹高校だけでなく口丹地域の私立を含めた高等学校、京都市内からは洛北高校にも参加いただいた。大学は京都学園大学や京都大学、明治国際医療大学、多くの民間企業やボランティアの方々にブースを出していただいた。多くの子どもたちが参加した。

◎国・府関係

- ・児童文化の集いが10月29日に行われた。児童養護施設で暮らしている子どもたちの発表会で府内を輪番で回っているが、今年は亀岡であった。施設で暮らしている子どもたちの生き生きとしている表情をみて感銘を受けた。
- ・11月1日に視覚障がい者社会教育指導者研修会が別院中学校で行われ、視覚障がい者や指導者と交流する新しい取組を行った。京都府南丹教育局主催の事業であった。
- ・交通安全子ども自転車亀岡市大会を11月5日に亀岡運動公園で実施した。今年も千代川小学校が優勝し、上位3校が来年京都府の大会に出場することになり、優勝目指して頑張っていきたいということであった。
- ・11月14日の南丹教育局管内教育長会議で、教育内容についての会議と来年度の人事に関する会議が並行して行われた。来年度の人事異動についての基本的な方向性等について説明された。いくつかの改正があり、人事異動方針の中で注目すべき点が2点ある。1点目は、女性管理職について積極的に登用してください

と府から初めて提案された。これは京都府全体としても女性の管理職を、数値目標をたてて増やしていこうということで、小中学校の校長や教頭についても管理職として増やしていこうと言われている。小学校は二十数パーセントいるが、中学校については亀岡市内の女性の管理職はゼロである。全体からみれば非常に比率が低いので課題として提起されている。2点目は再任用制度が進んできたが、校長や教頭の管理職についての再任用についても制度化しようと報告された。

- ・ 11月15日に近畿地区中学校道徳教育研究発表会があり、公開授業を亀岡中学校と高田中学校で実施し、全体会をガレリアかめおかで開催された。近畿各地から多くの先生が研究発表を聞かれていた。高田中学校の発表を見たが、しっかりと道徳の授業をされていた。文部科学省の先生に講演をいただくということで、教育研究所が声をかけて小中学校の多くの先生に研修の機会ということで講座のひとつに位置付けて、道徳教育の今後について勉強していただいた。
- ・ 南丹地区小学校駅伝競走大会が11月20日に園部運動公園で開催されたが、亀岡市は残念ながら優勝できなかった。
- ・ 子どもの貧困対策に係る施策ヒアリングについて、京都府立大学が調査研究を行うということで、亀岡市のいじめについてヒアリングに来られた。

○報告を受け、委員から次の質問・意見があった。

委員 人事異動について、中学校の管理職に女性の登用がゼロであること
の背景はあるのか。たまたま今女性の管理職がないだけなのか。

教育長 全体的に管理職志願者が少ないことが一つ挙げられる。教頭の仕事が
ハードになっているので、敬遠してしまうのかもしれない。もう一つ
は、これから世代交代が進んでくるので、世代交代の中で管理職を目
指していく人材を教頭や校長が育てていくというのが一つである。

委員 ヒューマンフェスタでは、小学校中学校の人権作文の発表や中学校の
ブラスバンドのレベルの高い演奏を聞かせていただいた。今回、高校
生も参加していただいたので、人権の意識の推進という点で非常に良
かった。

委員 子どもたちが参加することで、大人も足を運んでもらえるという良い
連鎖が生まれているので、学校や保護者にも負担をかけるが今後もご
協力をお願いしたい。子どもの貧困対策に係るヒアリングは京都府か
ら亀岡市教育委員会に対して行われたのか。

教育長 京都府が事業として子どもの貧困対策推進計画を策定しており、その
項目の中に貧困家庭に関わる調査を京都府立大学に委託されて、京都
府立大学の先生が亀岡市の状況を教育委員会へ聞き取り調査に来られ
た。

委員 別院中学校で行われた視覚障がい者社会教育指導者研修会の具体的な内容は。

事務局 目の不自由な方のために、触って体験させる取組を行っている博物館の館長の話であった。障害者の視点での取組を進めておられた話や歌を歌ったり、体を動かしたりする内容であった。

委員 南丹管内の小中学校の先生が参加されたのか。

事務局 南丹管内の亀岡市、南丹市、京丹波町の視覚障がい者の方とサポートしている方の約50名が別院中学校に来ていただいた。

委員 管理職の再任用について、これは今後人数的に厳しくなるのが予想されるのか。希望する人が任用されるということか。

教育長 管理職の再任用については、京都府立すばる高等学校の先生が最初の再任用になった。それは、イレギュラーな形ではじまり、民間から来られた先生で、65歳まで勤められた。昨年か一昨年に南丹市八木町の神吉小学校が廃校になるのが、1年伸びたことで、その1年をある先生に再任用校長という形で就いていただいた。この4月から京都府立の聾学校に再任用の校長ができた。再任用の教員の場合は給与も含めてルールが決まっている。再任用の校長はそのようなルールが決まっていなかったもので、それらを決めていこうとのことである。これまでは校長や教頭の層が厚かったので、充足できた。しかし、将来的にみて、数年経って、その厚い層が退職してしまうと人がいなくなる。必要に応じて若い校長や教頭が育ってくれば良いが、間に合わない可能性もある。その場合、誰かにお願いするシステムとして考えている。校長がそのまま残るというシステムではない。それ以外に管理職には、定年後いろいろな形で仕事をしていただいている。校長自体が残るものではない。

委員 サイエンスフェスタは、今年は人数が多く、楽しく参加させていただいた。昨年の教育委員会では、マンネリ化しているという意見もあったが、違った切り口を工夫されて良かった。

(4) 議 事

議案番号	件 名
第14号議案	亀岡市文化資料館協議会設置要綱の制定について

○第14号議案について教育部長が議案説明を行った。

- ・文化資料館の新資料館構想については、平成26年と平成27年に委員14名による10回の策定委員会を開催し、基本構想を策定いただいた。その後、平成32年までの夢ビジョン後期基本計画の中に新資料館建設実現へのプロセスを検討していこうと、構想を踏まえて市民と行政が一体となって建設実現に向けて検討していくという表現になっている。今年度も委員の調整を行い、2回程度の会議を開催することで計画している。この度、委員の調整ができたので、今後、会議開催のための要綱を制定するものである。委員は8名以内で組織する。2年間の策定委員としてお世話になった委員や新しく委員でお世話になる方を含めて構成していくことを考えている。平成28年12月1日から施行したい。

教育長 文化資料館については、今の建物が老朽化しており、新しい資料館を造っていく必要があることを指摘されている。現在、亀岡市全体として、亀岡会館、中央公民館等の耐震の数値が低いと言われており、一体的な新設というものを全体の会議で議論して、文化資料館については、どういう構想で進めていけばよいかを協議していく。またそれまでの間の文化資料館の在り方も協議していく。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委員 新資料館ができたならこの委員会は終わりなのか。

事務局 基本的には、新しい資料館が完成した場合には、博物館法に則った登録博物館を目指すのであれば、博物館法の中に条例で運営協議会を設置することという規定がある。ただし、今の資料館は登録博物館でもなく、類似施設としてスタートしている。開館して31年、昭和49年に完成した、女子技芸専門学校の校舎で、昭和61年に改造して現在に至っている。すぐに条例設置の運営協議会を2年間かけて策定した構想で移行するのではなく、現段階では類似の資料館であるため、この要綱による協議会とし、将来的には、この協議会が新資料館になった時に可能であれば条例設置の協議会に格上げしていきたい。

○第14号議案について原案どおり承認した。

(5)報告事項

- ①平成28年度一般会計12月補正予算案について
- ②亀岡市学校規模適正化に係る状況報告について
- ③京都府中学校駅伝競走大会の結果について

- ④亀岡市小学生駅伝（持久走）大会の結果について
- ⑤第12回南丹地区小学校駅伝競走大会「京都丹波キッズふれあい駅伝」の結果について
- ⑥平成28年度「いじめ根絶月間」の取組み結果について
- ⑦平成29年亀岡市成人式について
- ⑧亀岡市文化資料館友の会サークル体験会について
- ⑨平成29年1月教職員研修講座について

○教育長報告及び各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<平成28年度一般会計12月補正予算案について>

委員 トイレ改修は、各小学校のトイレ全て行うのか。

事務局 大井小学校、つつじヶ丘小学校、城西小学校のトイレを閉鎖せずに、使用しながら改修工事する関係で、半分ずつ実施する。残りの半分については、翌年度実施する。

委員 洋式トイレになるのか。

事務局 基本的にはそのように考えているが、学校の要望を聴いて各学校に1つくらい和式を残すこともあるかもしれない。各学校の施設の状況によっては、全て洋式にするとスペース的に個数が減ったりするので、状況をみながら実施したい。

委員 中学校の印刷代や用紙代等の運営費が足りないということを総合教育会議でも議題になっていたが、それは12月補正予算に入っていないのか。

事務局 補正予算とは別に違う形で手立てしている。

委員 この8億5千万円に国庫補助金も入っていることは分かるが、金額が大きい割には、実際に学校現場で困っているところもあると聞いているが手立てされているということなのか。

事務局 それが十分であるかはわからないが、一定させていただいた。

委員 学校の運営費が足りていない点をもとに来年度の予算も考えられるのか。

事務局 これから来年度予算の折衝・編成の時期となるので、予算要望はして

いく。やはり経常経費については一定の削減ということもあるが、要望も聞いているので節減できるところは節減して、一定確保しなければならない部分は確保していく。昨年より増額するというのは厳しい状況である。

委員 空調設備は大賛成であるが、空調設備が入ると経費もかかってくる。そうすると印刷代や用紙代の経費に加えて、空調を動かす経費が増えていくと思う。教育委員会としては、その点を覚悟したうえでやるのか。

事務局 基本的にはエアコン設置に必要な電気代等は、これまでとは別に措置していただけるように話はしている。ただ、電力の自由化やデマンド方式等の縮減方法もあるので、うまく組み合わせながら、考えていきたい。また、暖房では現在、灯油ストーブを使っているので、両方を使う方が良いのか、電気にするのかも含めて検証しながら進めてほしいと財政課から言われている。

教育長 エアコンを使うとかなり電気代が上がる。電気使用量が一時的に上がったことで、最大値で電気料金がかかる。予め設定した電力を超えそうな時に警報がなるようなデマンド監視装置を高田中学校に12月から入れてコントロールするようにした。

委員 学校の蛍光灯はLEDになっているのか。将来的に考えると替える方が安い。

教育長 市内の街灯も壊れたらLEDに替わっていつているが、施設内はなっていない。高田中学校は全部LEDになっている。

<亀岡市学校規模適正化に係る状況報告について>

委員 修正してうまくまとまれば良いが、かえって混乱してしまうこともあるので難しい。

事務局 説明会の中でも合理的な説明がつく部分については、修正させていただくが、合理的な説明がつかない部分については、見直しができないと考えていると説明してきた。

委員 ブロック協議会に学校長は入っているのか。

事務局 学校長、自治会長、市議会議員、PTAに入っている。

- 委員 学校長と協議することはあるのか。
- 事務局 関係する学校長に集まっただき、調整する場を設けたりしている。
- 委員 学校長から出ている意見は、地域から出ている意見と同じなのか。
- 事務局 学校長にお願いしているのは、児童の負担軽減で、交流事業としてどのようなことが可能か、学校が変わることによる物品の使用がどうか等を協議していただいている。地域から直接出ている意見はこちらで考えていくということとしている。
- 委員 学校長のところには、地域からの直接の声も上がってくるものがたくさんあるのではないかと。学校長も含めた中で協議したほうが参考になることも多くあると思う。
- 事務局 12月1日の会議ではそういった意見も聞かせていただけたらと思っている。
- 委員 教育委員会对ブロック協議会、あるいは教育委員会对地域別推進会議になりがちだと思うが、間に入っていただく第三者的な方、例えば市議会議員が間に入って調整してもらえればありがたいと考えている。
- 事務局 次の会議では、第1回会議で実施計画案を示したので、その修正部分について、このように考えているが意見を聴かせてくださいという形で、それぞれの委員から思っていることを聞かせてもらえたらと考えている。
- 教育長 平成30年に指導要領の移行に入り、平成32年に完全実施しなければならない一方で、新しい体制を作っておかなければしんどい。そういった意味では、亀岡川東学園ができて、小中一貫校が整理できて、小中連携のいろいろな授業をしていかなければならない。場合によっては、制度そのものが6・3制を京都市内では一部崩している学校もある。その中で、学力向上の成果が上がっていると聞いているし、小中連携の中で、そういった取組をしていこうとすると、安詳小学校の過密を軽減することと、小中連携ができる体制を作っていくことが大切だと考えている。ただ、その点の理解が得られていない部分があるので、もう少し教育論的な話もしていかなければいけないと考えている。そこが不足していたと反省している。

(6) その他

①平成28年度 第2回教育委員会委員学校訪問について

次回の定例教育委員会を平成28年12月20日に、次々回は平成29年1月24日に開催することとした。

(7) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上